

## 伝票・見積書の便利な使い方 160201

### 車検・点検伝票発行時の注意

車検伝票を発行する場合、商品コード「00010」～「00050」を使用します。

点検伝票を発行する場合、商品コード「00060」～「00090」を使用します。

この商品コードは仕掛けがあり、以下の内容が隠れています。

伝票作成時には表示されませんが、印刷時には下記内容が自動的に印刷されます。

00010	シヤケン	*《車検》法令・点検整備*	式		00
00011		エンジン調整一式、排気ガス測定調整	式		00
00012		燃料フィルター、Vベルト、エアエレメント点検	式		00
00013		ステアリング廻り点検、調整、給油	式		00
00014		フロント & リヤサスペンション点検、アライメント調整	式		00

この商品コード「00010」～「00090」は伝票の1行目しか働きませんので  
車検・点検伝票発行時には注意して下さい。

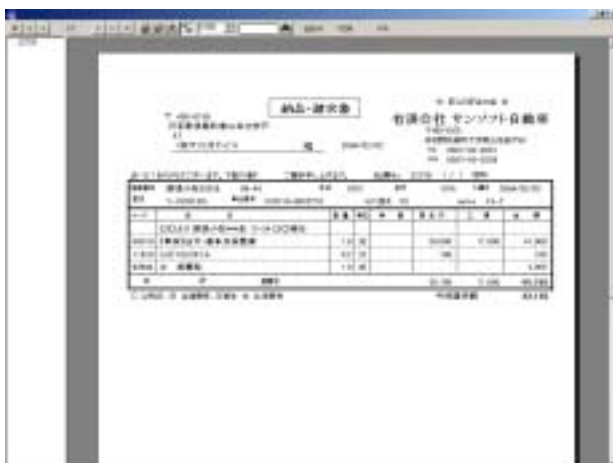


この箇所では働きません。

委託車検・点検の場合は、1行目に「99999」その他商品で委託先を入力し、車検・点検  
の商品コードは2行目以降に入力することになります。この場合、仕掛けは働きません。

1行目に入りきらなかった場合は2行目も同様に「99999」で入力して下さい。

商品コード	整備内容	部 品	作 業	単 位	数量	単価	部品代	工 賃	金 額
99999	〇〇より 電張小牧***あ 12-34	〇〇様分							
00010	《車検》法令・基本点検整備			式	1.0	80,000	80,000	11,000	41,000
11820	引付トラック代			両					

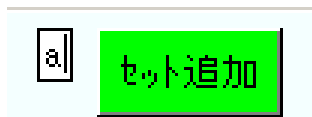


入力の仕方は上記のようになります。

印刷イメージです。

## セットとは

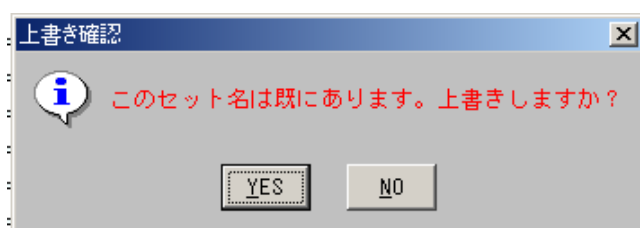
よく使用する伝票のパターンをセットとして登録しておき、呼び出してまとめて伝票入力を助ける機能です。



### セットの登録

普通通りに伝票入力を進めていきます。「登録」する前にこのパターンを残したい場合に、下部にある「セット追加」の左へ半角1文字を入力して「セット追加」のボタンを押します。

**登録できる文字は「A～Z、0～9」です。大文字、小文字の区別は出来ません。登録した文字を忘れないようにして下さい。**



同じ文字が入力されると左の表示が出ます。  
再度文字を確認して下さい。  
「YES」は上書きしますので、以前登録されているデータは消えます。  
「NO」は登録しません。

この表示が出ても登録したい場合は別の文字を選択し、やり直して下さい。

## セットの利用方法



修理(売上)伝票の1行目で働きます。右図参照

商品コード入力欄で「SET\_?」して「Enter」キーを押します。

「?」の部分は登録した文字を入れて下さい。「\_」はアンダーバーを入力して下さい。

アンダーバーは「Shift」キーを押しながら、「ろ」キーを押して下さい。

すでに登録してあるSET内容が画面上に展開されます。

必要に応じて単価の変更、行の追加、行の削除して本伝を作成して下さい。

**車種(軽乗用車、普通乗用車、トラックなど)毎に車検、点検、よく使う部品などをSET\_\_A、SET\_\_Bとして登録しておくとう便利です**

(例)下記の内容でSET\_\_ と登録し「SET\_\_ 」と入力した場合

商品コード	整備内容	部品	作業	箱	数量	単位	単価	部品代	工賃	金額
00010	法令2-4ヶ月定期点検、重検基本整備				1.0	式			85,000	85,000
90020	下廻り 締め締め及びびねりか*イット				1.0	台			6,000	6,000
92190	*イット				1.0	個	2,000	2,000		2,000
92180	*イット交換				1.0	式			5,000	5,000

セットは自由に組替えが可能なので、よく使用する項目などは、セットにしておくとう便利です。

セットの作成は売上伝票作成中以外に『伝票修削(D)』からでも行えます。

詳しくは『伝票修削』を参照して下さい。

セット伝票の内容を確認するには『各種帳票』の「セット内容閲覧」で行って下さい。

セット伝票内容を印刷も出来ます。『随時メンテ』の「セットの削除」を行うと、

登録されている内容全てが削除されますのでご注意下さい。

## 複数行で行っていた作業が1行で出来ます。

「交換」「脱着」「右」「左」「上下」等の装飾を使用すれば1行で表現することが出来ます。

「交換」「調整」等、作業を示す項目は商品名の後ろに表示されます。

「上下」「右」「左」等、箇所を示す項目は商品名の前に表示されます。

商品コード	整備内容	部品	作業	
72780	右フェンダー		脱着	仮に右フェンダーの脱着、钣金、塗装、清掃を行った場合の伝票は下記のようになります。

この場合は「右」「脱着」「钣金」「塗装」「清掃」と5回文字装飾を行っています。

## 「部品代」と「工賃」が同一行で処理できるようになっています。

「部品代」、「工賃」と分けて入力することも可能です。

この場合は1行目に「部品代」のみ、2行目は「工賃」のみ入力して下さい。

入力する項目は一緒ですが、表示は下記のようになります。

商品コード	整備内容	部品	作業	飾	数量	単位	単価	部品代	工賃	金額
71818	パンパ				1.0		30,000	30,000		30,000
71818	パンパ交換				1.0	件			5,000	5,000

## 伝票内途中行の削除の仕方

行の削除 = F1 行の挿入 = F2 商品新規 = F3 NEXT = F4

商品名の装飾 = F1

削除したい行にカーソルを合わせて[F1]キーを押すと、行の削除を行います。次の行が繰り上がり、関係の算数を計算します。**この場合、入力してある行が削除されます。**

**「文字装飾」とは入力場所が違うので御注意下さい。**

商品コード	整備内容	部品	作業	飾	数量	単位	単価	部品代	工賃	金額
00010	法令24ヶ月定期点検・車検基本整備				1.0	式			35,000	35,000
20020	下廻り 錆止め塗装及びワックスコート				1.0	台			6,000	6,000
2190	6インチ交換				1.0	式			5,000	5,000

太い線の部分が削除された行です。

1行削除したい時にご使用下さい。

## 空白行を作りたい場合

見せかけで空白行を作りたい場合、商品コードへ「99999」を入れその行を空白にしておく事が出来ます。空白をうまく利用して下さい。

## 伝票内の途中行に新しい行を追加したい場合

行の削除 = F1 行の挿入 = F2 商品新規 = F3 NEXT = F4  
商品名の装飾 = F1

行を追加したい行の商品コード欄にカーソルを合わせて[F2]キーを押すと、行の追加を行います。以降の各々の行が繰り下がります。**この場合、入力した行に1行追加されます。**

商品コード	整備内容	部品	作業	飾	数量	単位	単価	部品代	工賃	金額
00010	法令24ヶ月定期点検・車検基本整備				1.0	式		35,000		35,000
30020	下廻り 錆止め塗装及びフェック*イント				1.0	台		6,000		6,000
B2190	5インチ交換				1.0	式		5,000		5,000

太い線の部分が追加された行です。

複数行行いたい場合は、上記の作業を繰り返して下さい。

## 伝票の途中で新しい商品を追加したい場合

行の削除 = F1 行の挿入 = F2 商品新規 = F3 NEXT = F4  
商品名の装飾 = F1

売上傳票作成時に商品コードが登録していない部品が出た場合、商品の登録が出来ます。

商品コード欄にカーソルを合わせて「F3」キーを押すと、商品マスタ入力画面が表示されますので、登録を行って下さい。

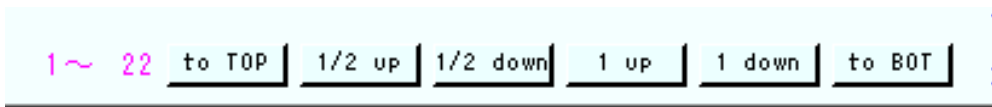
めったに使用しない部品の場合は「99999」のその他入力での入力も出来ます。

詳しくは「商品マスタ」のページを参照して下さい。

### スクロールの動かし方

整備売上・修理見積もりなどで入力できる行数は最大88行までです。

1画面で表示できない伝票も出てきますので、下記のボタンで伝票を動かします。



「to TOP」の横の数字は、現在表示している行数です。

- |            |                             |
|------------|-----------------------------|
| to TOP     | 伝票の先頭に移動します。                |
| 1 / 2 up   | 現在表示している画面を1 / 2ページ上に動かします。 |
| 1 / 2 down | 現在表示している画面を1 / 2ページ下に動かします。 |
| 1 UP       | 現在表示している画面を1ページ上に動かします。     |
| 1 down     | 現在表示している画面を1ページ下に動かします。     |
| to BOT     | 伝票の終わりに移動します。               |

## 商品マスタの内容を続きから表示させたい

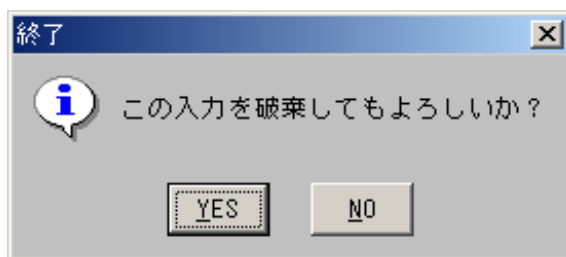
売上傳票作成時に呼び出した商品マスタコードの続きから呼び出すことができます。  
商品コード欄にカーソルを合わせ『F4』キーを押すと続きのコードが表示されます。

コード	通称	商品名
11910	エレメント	オイルエレメント
11920	エレメント	エヤークリーナエレメント
11930	エレメント	燃料エレメント
11940	ネリョウ	ガソリンホース
11950	ネリョウ	ガソリンパイプ
11960	フメチ	オイルポンプシフトキー

例. 『11910』を呼出後の次の行で  
F4を押すと商品マスタが開きます。  
『11920』が一番上に来ていますのでそのままENTERキーを押せば  
『11920』が入力されます。

## 伝票を破棄したい

伝票を破棄したい場合は「戻る(Q)」を押して下さい。



左の表示が出ますので、破棄なら「YES」を押して下さい。  
この入力は無かったこととなります。  
「NO」を押すと入力画面に戻ります。

## 指数を使用した伝票を作成する場合

指数を扱う場合は、あらかじめ「会社基本設定」で、**指数金額を登録する**と機能します。

**指数の場合は会社基本情報にレパレート金額をあらかじめ入力して下さい。**

**指数 < > 0 の時指数扱いになります。整備入力方法は同じです。**

整備入力時に 部品 + **化工コード** を入れると 数量は指数点数となる 単価は **レパレート** が採用されます。

その場で変更可能で 計算結果は工賃へ格納されます

間違いで戻す場合は 商品コードを空白にして [Enter] キーを押すか、又は行を削除します。

## 見積書を作る場合

伝票上部の「見積」ボタンを押した場合「修理伝票」が「見積書」に変わります。

その後は通常の整備売上処理と全く同じです。

新車・中古車の見積書を作成したい場合は「**車販見積(H)**」にて行って下さい。